

上天草市第2次総合計画後期基本計画の進捗状況（詳細版）

最重点 【戦略目標 1 観光需要と観光消費額を拡大する】

施策No.	アクションNo.	アクション名	事業名	令和元年度の取組実績	事業目標（令和元年度）	事業目標の達成度合	成果指標 H29年度（基準） R5年度（目標）	成果指標の 令和元年度目標	成果指標の 達成状況	達成率
① ターゲットを設定した上天草ブランドの開発										
	1	「女子旅」をコンセプトとした観光の魅力づくり	総合観光プロモーション事業	季節に応じて、ターゲットを絞った媒体を活用したプロモーションを実施した。 ○主に、県内及び福岡の媒体を活用した広告、ラジオによるPRを実施。 ○総合パンフレットの刷新 ○湯島の定時ガイドをゴールデンウィークに合わせて実施 ○女子旅用の上ガールパンフレットの増刷 年間配布数7,400冊	○メディアミックスによる情報発信：10回 ○新規パンフレットの作成：1式 ○定時ガイドの実施：1回	○メディアミックスによる情報発信：14回 ○新規パンフレットの作成：1式 ○定時ガイドの実施：8回	女子旅等ブランドPRイベント、キャンペーン実施による集客効果 H29年度：183,792人 R5年度：200,000人	18.5万人	H30年：201,894人 R1年：現在調査中	109.1%
	2	観光ブランディングの推進	観光トータルブランディング推進事業	上天草市観光ブランディング推進業務及び、上天草市観光ブランディングプロモーション業務を実施。 ○ウェブサイトの制作（11月運用開始） ○公共交通機関（バス）を活用した旅行商品を5件作成 ○9月にオープンしたサクラマチくまもと内くまモンレヅジにおいて上天草フェアを開催（9/14～9/25） ○台湾の旅行サイト「ラーチャーゴー」、YouTube広告を実施 ○「ナナメ上/上天草」動画作成 再生回数10万PV	○ウェブサイトの作成 ○「ナナメ上」旅行商品の作成：5件	○ウェブサイトの作成（11月） ○「ナナメ上」旅行商品の作成：5件				
	3	インバウンド旅行受け入れの促進	外国人観光客誘致事業	台湾及び香港において、商談会や旅行博への出展、インフルエンサー招請及びサイクルツーリズム推進業務を実施。 ○台湾のインフルエンサー招請及び自転車メーカー「DIZO」とのコラボ自転車を制作。 ○九州運輸局の事業への参加（ウエディングツーリズム） ○台湾の旅行博、香港の商談会に参加 ※韓国は情勢悪化に伴い活動を中止した	○外国人宿泊者数：12,000人	○外国人宿泊者数：現在調査中 H30年：8,242人				
② 観光の目的地になるスポット整備・イベントの充実										
	4	前島・宮津地区の観光拠点の整備・充実	前島地区総合開発整備事業 宮津地区開発調査検討事業	前島地区の総合開発については、9月末日の観光交流活性化施設新築工事の完了をもって概ね整備が完了した。 護岸及び付帯施設整備については、ペロン船倉庫の解体及び護岸舗装については完了したが、ホイストクレーンの設置工事については、令和2年度に繰り越すこととした。 年度当初は宮津地区将来構想検討委員会を設置する予定であったが、開発事業の方向性等の検討を行うため、庁舎でプロジェクトチーム、幹事会、分科会を作り、検討を行った。	○護岸整備 ○観光交流活性化施設整備	○護岸舗装工事完了 ○新築工事完了	観光スポット整備、観光イベント開催による観光入込客数 H29年度：243,278人 R5年度：300,000人	255,000人	H30年：273,322人 R1年：現在調査中	107.2%
	5	樋合地区の環境拠点開発	樋合リゾート開発事業	市道整備については、当初今年度で開通する予定であったが、軟弱地盤等による関係機関との協議に時間がかかり、下層路盤までの整備が完了した。 水道事業については、計画通り大矢野からの送配水管の布設まで完了し、事業完了。 開発事業者との関係者協議を7回開催。	○道路整備 ○水道整備	○道路整備…下層路盤工まで完了 ○水道事業…完了				
	6	景観を満喫できる観光地の魅力づくり	観光施設維持管理費	美しい景観と国道沿線等に花を植栽することで観光客をもてなし、美しい上天草の印象を与えるとともに観光地としてのイメージアップを推進。 ○花苗配布/年間：2回 ○花壇管理（花の植栽）/年間を通して：花壇数33カ所 ○合津港沿線松剪定/年間を通して：27本 ○菜の花植栽/9月から2月 アロマ前：1.5ha、今泉オルレコース付近：1.1ha ○天草四郎公園等ヤシ剪定/年間：1回 九州自然歩道の除草や清掃、危険箇所の点検業務等を行い、景観を満喫できる観光地を維持し、観光客の満足度向上と市のイメージアップを推進。 ○高舞登～牟田～龍ヶ岳間（18.3km）除草/年間：1回 ○高舞登山展望所雑木伐採：450㎡	○年間を通じた植栽等の適正な管理	○植栽等の維持管理：委託により実施				
	7	既存観光施設の活用	観光施設維持管理費	自然に親しむ機会を提供する施設の管理業務を指定管理者制度により実施することで、民間事業者のノウハウを活かし、観光客のニーズに対応した効率の良い施設運営を行った。 ○龍ヶ岳山頂自然公園及びミューイ天文台の指定管理/通年 ○龍ヶ岳山頂自然公園バンガロー補修工事及び監理/12月～2月：2棟 ○龍ヶ岳山頂自然公園シャワー、給湯器、コインタイマー修繕：他修繕を優先したため未実施 ○姫戸白嶽森林公園・小島公園・諏訪公園の指定管理/通年 ○小島公園キャンプ場トイレ改修/便器入手困難となり中止 ○小島公園キャンプ場ロッジ耐力度調査・改修工事設計/12月～3月 民間事業者や地域と連携し、安全で快適な管理業務を実施することで、観光客のニーズに対応した効率の良い施設運営を行うものである。 ○樋合海水浴場「海の家」指定管理/通年 ○樋合海水浴場施設管理/6月～9月：海水浴シーズン ○樋合海水浴場監視/7月～8月：海水浴シーズン ○樋合漁港施設維持/通年 ○西目海水浴場施設管理/6月～9月：海水浴シーズン ○唐船ヶ浜海水浴場危険防止/6月～9月：海水浴シーズン ○小島公園及び諏訪公園海水浴場砂整備/6月：海水浴シーズン前 地域と連携し、快適性、利便性の高い管理を実施することで、観光客のニーズに対応した効率の良い施設運営を実施。 ○浄化槽等管理/通年 ○観光施設トイレ清掃管理/通年 ○オルレコース維持管理/通年：松島・維和島コース	○バンガロー補修：2棟（龍） ○シャワー修繕（龍） ○トイレ改修（小） ○耐力度測定・改修工事設計（小）	○バンガロー補修：2棟 ○シャワー修繕：未実施 ○トイレ改修：入札不調 ○耐力度測定・改修工事設計：1式				
				○民間事業者や地域と連携した市内海水浴場等の適正な管理	○海水浴場等の管理：委託により実施					
				○地域と連携した観光施設等の維持管理	○通観光施設等の維持管理：委託等により実施					

8	天草四郎ミュージアムの活用	天草四郎ミュージアム管理事務事業	世界遺産を目的に訪れる旅行者に対し、天草のキリシタン文化の情報発信拠点（天草の玄関口）として発信力の強化と訴求力を向上を推進。 ○企画展示に係る企画業務の実施 ○瞑想空間を利用したキリシタン歴史解説 ○天草島原の戦い・キリシタンを描いた巡回公演実証実験 ○限定オリジナルグッズ製作 ○旅行商品造成を目指した世界遺産モニターツアー造成	○天草四郎ミュージアムの入館者数：44,000人	○入館者数実績：32,725人				
		天草四郎ミュージアム施設事務事業	内容の検討に期間を要したこと、及び十分な製作期間を確保するため、令和2年度に延期	○ミュージアムで放映する映像の作成	未実施 令和2年度実施予定				
9	「天草ジオパーク」に関するスポット開発	観光事務総務事業	天草ジオパーク推進協議会は令和2年3月31日をもって解散することとなったため、今年度は市負担金の徴収はなく、ジオガイド研修等は実施されなかった。	○ジオガイド研修の開催：1回	○ジオガイド研修の開催：0回（未実施）				
10	食・スポーツに関する話題性の高い集客イベントの実施	アウトドア推進事業	○ONSEN・ガストロノミーウォーキングの開催：1回 ○上天草マイスターガイド活用によるアウトドアコンテンツの旅行商品開発：0件（旅行会社へ企画提案は行ったが、商品化されなかった）	○イベント参加者の満足度：90%以上 ○サイクリングの旅行商品化：1件	○イベント参加者の満足度：97% ○サイクリングの旅行商品化：0件				

③ 観光動線の利便性の向上による「快適さ」の確保

11	観光ルート開発・観光サインの整備	観光トータルブランディング推進事業	公共交通機関（バス）やミオカミーノのレンタカーを活用した旅行商品を開発した。 ○公共交通機関やレンタカーを活用した旅行商品の開発：5件	○公共交通機関等を活用した旅行商品開発：5件	○公共交通機関等を活用した旅行商品開発：5件	広域観光ルート開発による観光入込客数 H29年度：68人 R5年度：累計40,000人	8,000人	H30年：8,140人 R1年：現在調査中	101.8%
		観光施設維持管理	三角側から天城橋を渡り、大矢野島に入ったすぐ左手に、観光ブランディング「ナナメ上^上天草」のロゴを配した看板を設置 ○サイズ：1,200m×3,600m ○表示内容：ようこそ（英語、中国語）、ナナメ上^上天草のロゴ	○「ナナメ上^上天草」看板設置	○「ナナメ上^上天草」看板設置：設置完了				
12	利便性の高い道路交通ネットワークの充実	公共交通等対策事業	公共交通における利用者の利便性及び運行効率性向上のため、ダイヤの見直し及び利用促進を図る取組を実施した。 ○座談会・意見交換会の実施：14回 ○運転免許返納者へくまモンのICカード交付：72件 ○地域公共交通だよりの発行：1回	○路線バス及び乗合タクシーの年間利用者数：182,049人 ○地域公共交通網の見直し（教良木河内地区）：2路線 ○交通系ICカードの無料配布の事業確立	○路線バス及び乗合タクシーの年間利用者数：166,145人 ○地域公共交通網の見直し（教良木河内地区）：5路線 ○交通系ICカードの無料配布の事業確立				

④ 観光ガイドや観光イベントを実践する市民・経営者の育成

13	市民の観光への理解・関心・参加の拡大拠点	おもてなし推進事業	○観光ガイドの依頼数：14件 ○市民及びガイド向けの育成講座の開催：10回（市民向け2回、ガイド向け8回）	○観光ガイドバンク登録者：30人（平成31年3月1日付け：10人）	○観光ガイドバンク登録者数：19人	①観光ガイドの参加者数 H29年度：15人 R5年度：累計300人 ②上天草・観光大学への年間参加事業者数 H29年度：187人 H30年度：100人	①30人（累計50人） ②100人	①19人 ②103人	①63.3% ②103%
14	観光事業を実践する経営者等の人材育成	おもてなし推進事業	○観光スキルアップ講座の開催（天草地域雇用創出協議会が実施）：3回	○講座の開催：2回	○講座の開催：6回				

⑤ 消費を拡大する観光商品・サービスの開発

15	定期的な物販イベントの開催	アウトドア推進事業	○ONSEN・ガストロノミーウォーキングの開催：1回	○物販拠点・物販イベントによる集客効果：4.2万人	○物販拠点・物販イベントによる集客効果：現在調査中 H30年：44,117人	物販拠点・物販イベントによる集客効果 H29年度：36,600人 R5年度：50,000人	42,000人	H30年：44,117人 R1年：現在調査中	105.0%
----	---------------	-----------	----------------------------	---------------------------	-------------------------------------------	-----------------------------------------------------	---------	---------------------------	--------

⑥ プラスαの滞在型観光商品の開発

16	ヘルスツーリズム、美容ツーリズムの開発	アウトドア推進事業	○ONSEN・ガストロノミーウォーキングの開催：1回	○イベント参加者の満足度：90%以上	○イベント参加者の満足度：97%	イベント・ツアー等の実施による観光入込客数 H29年度：6,160人 R5年度：50,000人	14,000人	H30年：12,588人 R1年：現在調査中	89.9%
17	アウトドアスポーツの体験プログラム拡大	アウトドア推進事業	○上天草トレッキングフェスティバルの開催：1回 ○トレッキングやサイクリングコースの情報発信：13回 ○上天草マイスターガイド活用によるアウトドアコンテンツの旅行商品開発：0件（旅行会社へ企画提案は行ったが、商品化されなかった）	○イベント参加者の満足度：90%以上	○イベント参加者の満足度：83%				

⑦ スポーツ合宿や教育・研修旅行など団体旅行の営業拡大

18	スポーツ合宿、スポーツイベントの誘致	スポーツ合宿誘致事業	○スポーツ合宿・イベントの誘致に向けた関係先訪問 旅行会社、他市町村イベント：6回 協議関係者：3回 ○スポーツ合宿誘致に向けた情報発信 情報誌掲載1回、フリーマガジン掲載1回、TV内告知3回	○スポーツ合宿実施団体数：85団体	79団体 （2月以降は、コロナウイルスの影響でキャンセルした団体もあった。）	スポーツ合宿、教育・研修旅行誘致による観光入込客数 H29年度：4,689人 R5年度：累計100,000人	10,000人 （累計50,000人）	H30年：13,680人 R1年：現在調査中	136.8%
19	教育旅行、企業旅行の誘致	総合観光プロモーション事業	○関西・関東地区の旅行会社や学校等の関係者等へのセールス活動：0回	○スポーツ合宿、教育・研修旅行誘致による観光入込客数：1万人	○スポーツ合宿、教育・研修旅行誘致による観光入込客数：現在調査中 H30年：13,680人				

施策No.	アクションNo.	アクション名	事業名	令和元年度の取組実績	事業目標（令和元年度）	事業目標の達成度合	成果指標 H29年度（基準） R5年度（目標）	成果指標の 令和元年度目標	成果指標の 達成状況	達成率
⑧ 流通・販売と一体となった「売れる」製品の生産体制拡大										
	20	道の駅さんばー等に直結した生産-販売体制づくり	農業農村建物施設等管理事業	点字ブロックの敷設と、備品購入を実施することで利用者の利便性向上を図り、リピーターを増やすことで物産館販売額の上昇に繋がった。 R元年度実績 ○さんばー敷地内点字ブロック設置工事 L=352m ○さんばー備品購入（調理場空調機 1台、本館空調機 3台、アイランドショーケース4台、鮮魚部用フレークアイス製氷機 1台）	○物産館販売額：72,000万円	○物産館販売額：73,427万円	1次産業生産額 H29年度：55億円 R5年度：58億円	55.6億円	65.9億円	118.5%
	21	付加価値の高い「売れる」1次製品の製作・産地化	農林水産物販売促進事業	ブランド認証審査会 1回実施	○新規ブランド認証：10品	新規ブランド認証12品				
			農林水産物ブランド化推進事業	ブランド認証審査会 1回実施	○新規ブランド認証：10品	新規ブランド認証12品				
	22	地産地消の推進	地場農畜産物利用拡大事業	学校給食における上天草産の原材料購入費用の一部を助成、地元農水産物を利用した地産地消料理教室や花きイベントを開催し、地域での地元農林水産物の消費拡大に繋がった。 ○地産地消料理教室開催回数/年間4回 ○花きイベント/年間1回（花まつり参加者数/1,500人） ○学校給食地場農畜産物利用拡大補助金 市内全調理場	○学校給食地場農畜産物導入率：35%	R2.8月判明予定				
⑨ 生産者の担い手育成、経営力のある組織体制の強化										
23	農林水産物の経営基盤の強化		農地中間管理事業	農業経営の規模の拡大、耕作の事業に供される農用地の集団化、新たに農業経営を営もうとする者の参入促進等による農用地利用の効率化及び高度化の促進を図ることを目的として、農地中間管理機構（熊本県農業公社）の業務の一部を受託し、農地の貸借に係る受付業務等を行った。	○貸付借受希望件数：30件	○農用地貸借実績：27件	①農業者数 H29年度：2,095人 R5年度：2,000人 ②漁業者数 H29年度：1,014人 R5年度：1,000人	①2,076人 ②2,011人	①1,845人 ②951人	①88.8% ②94.1%
			農業基盤整備事業	本事業は令和5年度を事業完了目標年度と定めているが、工期末の諸調整に時間を要することを見据えて、区画整理等の工事はできるだけ前倒しで実施されているところ。 R元（H31）年度実績 区画整理 12.5ha 排水整備工事 1式（進行中）	○農業基盤整備事業：実施率3割	実施率4.5割 【R元（H31）年度事業費295,500千円/全体事業費649,700千円で算出】				
			水産基盤整備事業（水産振興一般事務事業分）	①水産基盤整備交付金事業（水産業共同利用施設整備分）交付金 大道漁協 船舶給油所地下タンク及び配管改修については、地下タンクの油を使い切るのに時間がかかり工事に取りかかるのが予定よりもやや遅れてしまったが、それ以外は計画どおり行うことができた。また、7月に県から当事業の予算が余ったことで二次募集があり、天草漁業協同組合（上天草総合支所）から給油管理システム機器2基の改修 事業費2,630,000円の要望があったため9月補正予算にて対応し、計画どおり行うことができた。 ②水産基盤整備事業（漁港漁場整備分）補助金 今年度は要望額7,100千円を上回る7,626千円の内示額が割り当てられたことと、天草漁業協同組合（松島支所）でカサゴ稚魚放流を予定していたが委託業者との連携がうまくとれておらず中止となったことを踏まえ、天草漁業協同組合（上天草総合支所及び姫戸支所、龍ヶ岳支所）の自然石投入量を増大し、計画どおり行うことができた。 ③農林水産業振興補助金 熊本県沿岸部を通して構成された熊本県栽培漁業地域展開協議会の稚魚放流計画をもとに定められた期間内に「マダイ、ヒラメ、ガザミ等」の放流を行った。他にも、独自で必要と考えられるタコつぼや資材等を購入し計画どおり行うことができた。 ④水産多面的機能発揮対策事業負担金 大矢野同志会においては当初計画では6日間活動する予定だったが、漁業者との日程調整が合わないことや天候、潮の関係により4日間しか活動できなかった。また、樋合同志会では藻場の保全活動として岩盤清掃を計画していたがケガや病気の漁業者が多く中止した。釣り団体協議会及び樋島干潟保全活動組織においては、計画どおり行うことができた。	○漁業者数：1,011人	951人				
			水産基盤整備事業（補助事業） （海岸堤防等老朽化対策事業）	①海岸堤防等老朽化対策事業 ・貝場漁港海岸堤防等老朽化対策（長寿命化計画策定）業務委託 20施設 12,913千円 ・小屋河内漁港海岸堤防等老朽化対策（長寿命化計画策定）業務委託 36施設 24,048千円 ・七ツ割漁港海岸堤防等老朽化対策（長寿命化計画策定）業務委託 4施設 5,348千円 ・鷺浦漁港海岸堤防等老朽化対策（長寿命化計画策定）業務委託 6施設 4,232千円	○機能保全計画の策定：3漁港海岸	4漁港海岸				
			水産基盤整備事業（補助事業）	②水産物供給基盤機能保全事業（補助） 【牟田漁港】牟田漁港1号防波堤本体工（鋼管杭）L=2m：3,134千円 防波堤の本体工（鋼管杭）において、港内側の鋼管杭の防食を図るため、ペトロラタム被覆及び電気防食を施工した。 予算残額96,866については、次年度に繰越し執行する。 以下の工事については、関係機関との協議や入札における不落等により、実施できず翌年度へ繰越しして執行する。 【大道漁港】大道漁港池の浦内防波堤機能保全工事 L=35.0m 【大道漁港】大道漁港1号棧橋機能保全工事 N=1函 【小屋河内漁港】小屋河内漁港小屋河内南防波堤機能保全工事 L=62.0m 【小屋河内漁港】小屋河内漁港高串防波堤機能保全工事 L=20.4m	○機能保全工事：6漁港	1漁港				

24	新規就業者の育成・支援	認定農業者等支援事業	①新規就農総合支援事業（次世代人材投資資金） 就業初期段階のリスク軽減を図るため、交付する補助金 補助金額 1人：年間150万円 夫婦型225万円 （既存10人（うち夫婦型3組）） R元年度新規就農者認定者数：2人 ②新規就農者支援事業 新規就農者が円滑な就農を支援するため、農業機械の購入や簡易施設の設置等に係る経費の一部を補助（上限20万円） 0人	○新規就農者：2人（新規）	○新規就農者：2人（新規）					
25	遊休農地の活用・有害鳥獣対策の充実	一般農業振興事務事業	国が実施する耕作放棄地解消事業が平成30年度で終了し、県事業のみ補助事業の募集となった。申請希望者との個別相談の上、申請準備を行っていたが、解消予定地が解消要件に該当しなかったため、解消事業を中止することとなった。 ○市ホームページ掲載回数/年間：0回 ○市広報誌掲載回数/年間：0回 ○事業実施相談/年間：3回	○遊休農地（耕作放棄地）解消面積1ha	○遊休農地（耕作放棄地）解消面積0ha					
		自然保護事業	市において囑託職員として有害鳥獣対策に係る専門職員の雇用、熊本県猟友会上天草支部へ有害鳥獣（イノシシ）捕獲の委託、農業者等による農地の電気柵補助、狩猟免許取得に係る経費の補助を実施し、農作物への被害を防止した。また、出前講座や、HP・広報の活用により、地域住民の有害鳥獣被害への対策意識を高める取り組みを行った。 ○電気柵補助/年間：9件 ○電気柵取得補助/年間：2件 ○出前講座/年間：2回 ○HPや広報誌によるイノシシ対策啓蒙/年間：1回	○有害鳥獣捕獲：1,500頭 ○イノシシによる農作物被害金額：85万円以下	○有害鳥獣捕獲 イノシシ：1,016頭 ○イノシシによる農作物被害金額：54万円					

⑩ 農林水産業者の6次産業化支援、商工業者との連携支援

26	6次産業化を目指す生産者の支援	農林水産物ブランド化推進事業	○開発研究センター年間利用者/86人 ○新規開発相談/4件 ○県等関係機関への紹介/1回 ○補助制度の広報周知/3回 ○研修会等参加：1回 ○研修会情報発信：5回	○新規利用者：10人 ○補助事業利用者：10人	○開発研究センター新規利用者：2人 ○上天草市6次産業推進補助金申請：8件	加工商品開発に伴う経済効果 （年間売上額） H29年度：1.25億円 R5年度：4億円	1.8億円	2.5億円	138.9%
----	-----------------	----------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------	------------------------------------------	------------------------------------------------------	-------	-------	--------

⑪ ブランド商品・商品のPR拡大、販売・流通チャネルの拡大

27	ブランド商品のPRと販路拡大	農林水産物販売促進事業	○商談会への参加 7件/年 参加事業者 9社 ○アンテナショップによる対面販売 2回/年	○新規取引件数：20件 ○アンテナショップの売上げ：200万円	○新規取引件数：61件 ○アンテナショップの売上げ：2,224,916円	ブランド商品販売促進による経済効果（年間売上額） H29年度：1.25億円 R5年度：4.6億円	1.92億円	1.7億円	88.5%
----	----------------	-------------	-------------------------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------------	--------------------------------------------------------	--------	-------	-------

⑫ 加工商品の製造拠点の充実

28	製造拠点の充実（拠点整備/食品加工業の企業誘致）	企業立地事業	食品製造関連企業をリストアップしアプローチを行った。	○誘致：1件	○誘致：0件	製造拠点・企業誘致による経済効果（年間売上額） H29年度：8千万円 R5年度：3億円（累計10億円）	1億円	食品加工業の誘致企業無し	—
----	--------------------------	--------	----------------------------	--------	--------	-----------------------------------------------------------	-----	--------------	---

基本

【戦略目標3 地域の産業・企業の再生・育成により雇用を生む】

施策No.	アクションNo.	アクション名	事業名	令和元年度の取組実績	事業目標（令和元年度）	事業目標の達成度合	成果指標 H29年度（基準） R5年度（目標）	成果指標の 令和元年度目標	成果指標の 達成状況	達成率
-------	----------	--------	-----	------------	-------------	-----------	-------------------------------	------------------	---------------	-----

⑬ 地域の産業・企業の活性化に向けた支援

29	森林保全と多様な林業の開発	森林経営管理事業	業務委託により、森林簿・林地台帳や既存の資料等を基に、森林の状態、所有者情報の整理、林道整備状況等を考慮し、意向調査対象森林を選定し、意向調査期間15年の計画を策定した。	○上天草市の人口民有林のうち、経営管理が行われていない森林588haに対し、意向調査の対象森林の選定及び優先順位の決定を行う。（準備段階）	意向調査対象森林 398.32ha		工業統計の直近の製造品出荷額 H29年度：105億円 R5年度：122.5億円	108.5億円	工業統計の製造品出荷額 H30年度：106.2億円	97.9%
		一般林業振興事業（間伐支援）	民有林において森林の持つ多面的機能の発揮に向け実施される森林間伐事業等について、事業主体へ支援を行う。 ①森林環境保全直接支援事業補助金（流域育成林） 1,265,000円 ②間伐等森林整備促進対策事業補助金 1,480,000円 ③くまもとの森林利活用最大化事業補助金 272,000円 ④森林整備地域活動支援交付金事業補助金 494,000円 ⑤森林・山村多面的機能発揮対策事業負担金 478,950円	○民有林間伐実施面積：28ha	28ha					
		上天草市有林間伐業務事業	上天草市有林の適正な管理・育成と森林の持つ多面的機能を発揮させることを目的に令和元年度（平成31年度）においては、7,95haの間伐を実施した。なお、事業予算内で材積搬出のための森林作業道を施工したため間伐面積が減となった。	○市有林間伐業務：11ha/57ha（19%）	7.95ha/57ha（14%）					
30	商工業、海運業の経営支援	商工振興対策事業	例年同様、商工業の活性化を図るため、関係団体等が行う事業に対する補助金交付や経営安定化のための設備投資に係る利子補給補助を実施。 今年度申請事業者数：18社	○新規設備投資利子補給制度利用者：5人	大矢野町：4人 松島町：1人 計：5人					
		海運振興対策事業	船員の担い手不足解消に寄与するため、市内小中高生を対象に出前講座を開催し、海運業の魅力積極的にPRした。しかしながら2月下旬、3月上旬に予定していた2校については、コロナウイルスの影響により中止となった。 ○出前講座開催回数：3回	○新規船員雇用育成事業補助金申請：5件	○新規船員雇用育成事業補助金申請：6件					

⑭ 企業誘致の推進と起業化支援										
31	企業立地の推進	企業立地事業	県企業立地課と連携した新規企業及び誘致企業にアプローチした。また、関東関西地区において開催される各県人会などに参加し、企業情報を収集した。既存誘致企業との情報共有から関連する企業にアプローチした。	○誘致：1件	○誘致：0件	企業誘致・起業家育成による経済効果（年間売上額） H29年度：75億円 R5年度：84億円	80億円	65億円	81.3%	
32	新たな起業家の育成支援	商工振興対策事業	R1.10月に既存ネットワークの連携強化を図り、上天草市小規模事業者支援ネットワークを設立。連携強化に加え支援機関を追加し、創業希望者等へ手厚い支援を実施した。 ○ネットワーク担当者会議/年間：2回 創業支援塾や相談窓口等の利用を促進する。 ○相談者/9人 ○創業支援塾/4回	○創業者：4人	○創業者：6人					
⑮ 就労支援体制の充実										
33	就労を促進するための職業訓練や相談窓口の充実	商工振興対策事業	今年度も、上天草高等学校2年生や一般求職者を対象に、地元事業者の業務内容等を説明する場として、企業説明会を開催した。また、地元事業者を上天草市の広報誌などで紹介し、地元就職を推進すると共に、上天草市ふるさとハローワークの利用を求職者に呼び掛けた。	○企業説明会参加者：60人 ○企業説明会参加事業者：28社	○企業説明会参加者：70人 ○企業説明会参加事業者：27社	市内中高生の地元就職者数 H29年度：20人 R5年度：30人	22人	20人	90.9%	

重点 【戦略目標4 地域ぐるみで子育て・子育てしやすいまちをつくる】

施策No.	アクションNo.	アクション名	事業名	令和元年度の取組実績	事業目標（令和元年度）	事業目標の達成度合	成果指標 H29年度（基準） R5年度（目標）	成果指標の 令和元年度目標	成果指標の 達成状況	達成率
⑯ 就労支援体制の充実										
34	地域の特徴を生かした質の高い学校教育の推進	児童生徒学力向上対策事業	○「生きる力推進モデル校」阿村小、登立小、松島中、龍ヶ岳中の4校を研究指定指定校に指定し、学校内で研究テーマに応じた活動を行う。 ○学校教育指導員 年度当初から2名の学校教育指導員を委嘱し、学校教育現場で教職員に指導を行い、授業力向上に結び付けた。	○全国学力・学習状況調査及び熊本県学力調査で、県平均値を上回る。	12% 2校/17校 学力調査で上回った学校の割合	①小学校標準学力検査における学力偏差値 H29年度：53.5 R5年度：55.0 ②中学校標準学力検査における学力偏差値 H29年度：49.0 R5年度：52.0 ③小学校体力テストのABC割合平均値 H29年度：74.2% R5年度：78.0% ④中学校体力テストのABC割合平均値 H29年度：78.6% R5年度：80.0% ⑤上天草高等学校のポテンシャル向上に関する指標 H29年度：31.5% R5年度：35.0%	①54.0 ②50.0 ③75.5% ④79.0% ⑤32.2%	①51.0 ②48.3 ③74.4% ④82.4% ⑤31.1%	①94.4% ②96.6% ③98.5% ④104.3% ⑤96.6%	
		児童生徒自立支援事業	○スクールサポーターや学習支援員の配置 課題を抱える学校に配置し、 ○いじめ問題アドバイザー 3名のいじめ問題アドバイザーを確保した。特別に支援が必要な児童生徒に対する療育相談にも対応し、不登校の未然防止の役割を果たした。	○不登校児童生徒の出現率を現状値の1/3を目指す。	0% 出現率1.61% (H31) /1.18% (H30)					
		教職員多忙化解消の取組	○いじめ問題アドバイザーは上段のとおり ○部活動指導員 大矢野中（野球）、松島中（野球）、龍ヶ岳中（バスケット）、湯島中（太鼓）の4部活に対して計画通り指導員を委嘱し、競技力の向上と教職員の負担軽減につなげた。	○教職員の月の勤務時間が80時間を超える人数をゼロに抑える。	17% 2月/12月					
35	教育環境の整備・充実	学校規模適正化事業	○松島地区小学校（阿村小、今津小、教良木小）統合 ・意見交換会 4回 ・アンケート 1回（3校） ○維和中学校統合 ・意見交換会 3回 ・アンケート 1回（維和小・中）	○意見交換会：のべ5回開催	100%					
		学校空調設備整備事業	小学校9校・中学校6校の普通教室（特別支援学級含む）・図書室・理科室・パソコン室に空調設備設置完了。	○空調施設整備：15校	100%					
		学校ICT機器整備	普通教室100%整備完了	○無線LAN整備：17校	100%					
36	上天草高校の魅力向上	上天草高校支援事業	上天草高校の魅力を高めるため、補助事業を実施。 ○魅力向上補助金：144人 ○通学バス定期券購入費補助：26人 ○国立大学入学祝い金：1人 ○地元就職祝い金：8人 ○サポーターズ活動補助金：介護技術研修1回（2月）	○市内中学生の上天草高校入学率：32.2%	○市内中学生の上天草高校入学率：31.1%					
⑰ 地域・家庭・学校が連携し子育てを応援する教育環境の充実										
37	地域教育活動・家庭教育の支援・子どもの地域環境活動参画促進	地域学校協働活動事業	○新たに地域学校協働活動推進員を3人委嘱し、合計17人となった。	○地域学校協働活動推進事業における地域住民のボランティア人数：18,000人	15,572人 （2月以降は、コロナウィルスの影響で活動を自粛している。）	地域学校協働活動推進事業における地域住民のボランティア人数（年間延べ人数） H29年度：15,733人 R5年度：22,000人	18,000人	15,572人 （2月以降は、コロナウィルスの影響で活動を自粛している。）	86.5%	
⑱ 安心して子どもを産み、育てられる母子保健づくりの充実										
38	母子（乳幼児）健診・相談活動の充実	母子保健事業	○妊産婦の相談回数：延べ35名 ○乳幼児等の相談回数：延べ302名 ○電話相談：96名	○子育てに不安感や負担感を感じない割合（市民意識調査）：45%	34%	3歳児健診受診率 H29年度：95% R5年度：98%	96%	94.2%	98.1%	
		乳幼児健康診査事業	○2か月児健診・3～4か月児健診・6～7か月児健診・1歳6か月児健診・2歳児歯科健診・3歳児健診：各12回	○乳幼児健診の受診率の向上 3歳児健診受診率：96%	94.20%					

⑱ 地域サポートによるふれあいある子育て環境づくり

39	子ども子育て支援事業の充実	認可保育園等事業 (私立保育園施設型給付事業、広域入所含む)	○広報での周知：年2回 ○ホームページでの周知：年2回 ○子育て情報誌の作成、周知：各窓口センター、関係施設（通年）	○入所児童数：773人	○入所児童数：887人	子育てに不安感や負担感を感じない割合 (市民意識調査) H29年度：30.2% R5年度：45.0%	33.00%	34.00%	97.0%
		地域子育て支援拠点事業	○子育て支援センターだよりでの周知：各5か所×年12回 ○子育て情報誌の作成、周知：各窓口センター、関係施設（通年）	○子育て支援センター数：直営1か所、委託4箇所	○直営1か所、委託4箇所を実施。				
		放課後児童健全育成事業 (学童保育事業含む)	○ホームページでの周知：年1回 ○子育て情報誌の作成、周知：各窓口センター、関係施設（通年）	○放課後児童クラブ数：10か所、学童保育所：3か所	○放課後児童クラブは10か所に委託し実施。学童保育所は3か所を実施。				
		病児保育事業	○ホームページでの周知：年1回 ○子育て情報誌の作成、周知：各窓口センター、関係施設（通年）	○病児保育施設：1か所	○島田小児科医院に事業を委託し実施。				
		子ども医療費助成事業	○広報での周知：年1回（平成31年4月号） ○ホームページでの周知：年1回 ○子育て情報誌の作成、周知：各窓口センター、関係施設（通年）	○子ども医療費助成対象年齢を中学3年生から18歳までに引き上げる。 拡充人数：685人	○令和元年6月診療分から子ども医療費助成対象年齢を18歳までに引き上げた。 拡充人数：584人				
40	地域で子どもを支えるネットワークづくり	ファミリーサポートセンター事業	○ホームページでの周知：年4回 ○子育て情報誌の作成、周知：各窓口センター、関係施設（通年）	○ファミリーサポートセンター登録者数：80人	○上天草市社会福祉協議会に委託し実施。登録者数79人				

基本

【戦略目標5 心身ともに健康でいきいきと暮らすまちをつくる】

施策No.	アクションNo.	アクション名	事業名	令和元年度の取組実績	事業目標（令和元年度）	事業目標の達成度合	成果指標 H29年度（基準） R5年度（目標）	成果指標の 令和元年度目標	成果指標の 達成状況	達成率
⑳ 健康に対する市民意識の向上										
41	市民の健康への関心喚起、健診受診の促進		特定健診事業	○集団健診：31回 ○個別健診：6月～3月指定医療機関で実施	○特定健診受診率：40%（暫定値） （データヘルス計画目標値）	29.8%	特定健診・がん検診などの住民健診申込率 H29年度：60% R5年度：65%	61%	57.60%	94.4%
			特定健診未受診者対策事業	○人間ドック結果提供件数：45件 ○医療データ提供件数：41件	○データ提供件数：455件	18.90%				
			健康ポイント事業	○健康ポイント事業参加者数（申請者数）：204人	○特定健診受診率：40%（暫定値） （データヘルス計画目標値）	29.8%				
42	保健指導活動の充実による生活習慣病の発症及び重症化の予防	健康診査事業	○特定保健指導：32回 ○健康教育回数：49回 ○健康教育参加人数：1,384人 ○医療との連携：CKD連絡票医療機関受診把握率：85%	○特定保健指導実施率：60% ○健康教育回数：30回 ○健康教育参加者数：1,000人 ○CKD連絡票（医療機関受診）把握率：90%以上	68.20%					
㉑ 身近な地域の学びと社会参加の場づくり										
43	図書館、公民館等を活用した地域の学びと交流拠点の充実		図書館運営事務事業	○読書マラソン時期：11月1日～12月27日	○年間図書貸出冊数：50,000冊 ○読書マラソン参加者数：700人	○年間図書貸出冊数： ○読書マラソン参加者数：514人	公民館等での講座・教室への年間参加者数 H29年度：516人 R5年度：600人	520人	628人	131.2%
			公民館総括事務事業	○いきいき成人大学14回 ○中央公民館講座（上天草市の歴史や文化を学ぼう）8回	○公民館等での講座・教室へ年間参加者数：520人	延べ628人 （生涯学習発表会のステージの部、いきいき成人大学第15回及び第16回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）				
			大矢野自然休養村管理センター事業	○小・中学生書き初め席書大会1回 ○生涯学習発表会1回（展示の部のみ）						
㉒ 高齢者・障がい者の活躍する場の拡大										
44	高齢者の社会参加機会の充実		老人クラブ活動等事業	・広報2月号で活動内容と会員募集の記事を掲載した。	○クラブ数：88クラブ	82クラブ	①障害者総合支援法における障害福祉サービスの利用者数 H29年度：627人 R5年度：785人 ②就業により社会参加している高齢者率（60歳以上の高齢者のシルバー人材センター会員の割合） H29年度：1.6% R5年度：1.8%	①709人	①936人	①132.0%
			シルバー人材センター活動等事業	・広報2月号で活動内容と会員募集の記事を掲載した。	○就業により社会参加している高齢者率：1.6%	1.65%				
45	障がい者（児）の自立支援	障害者自立支援事業	○天草圏域にて障がい福祉ガイドの作成 ○天草地域自立支援協議会就労部会：年3回 ○個別相談対応	○障害福祉サービス（就労系サービス）利用者数：186人	160人		②1.6%	②1.65%	②103.1%	
㉓ 市民のコミュニティビジネスの育成										
46	市民の暮らしを支える地域産業の育成	商工振興対策事業	地場産業育成支援の施策を検討する。 買い物弱者の需要に合った支援策を検討するため、アンケート調査等による買い物弱者の現状把握や、市内の宅配サービスを実施している民間事業者の調査を行う。 ○アンケート調査/0回 ○検討会/0回	○施策立案 1件	○施策立案 0件	コミュニティビジネスに参加する市民の数（商店街活性化事業に参加する市民の数） H29年度：5人 R5年度：累計40人	15人 累計20人	8人	53.3%	

基本

【戦略目標6 多様な交流によりふるさとへの愛情と誇りを育てる】

施策No.	アクションNo.	アクション名	事業名	令和元年度の取組実績	事業目標（令和元年度）	事業目標の達成度合	成果指標 H29年度（基準） R5年度（目標）	成果指標の 令和元年度目標	成果指標の 達成状況	達成率
②4 スポーツ活動を通じた市民交流の拡大										
	47	市民のスポーツ機会の充実	体育施設管理事務事業	○スポーツ大会：4回	○スポーツイベントに参加する市民の数：8,670人	4,962人 (2月以降のイベントはコロナウイルスの影響で中止)	スポーツイベントに参加する市民の数 H29年度：8,563人 R5年度：9,350人	8,670人	4,962人	57.2%
②5 郷土の自然・文化にふれ学ぶ機会づくり										
	48	地域の歴史資産の調査研究・保存・発信	文化財保護事業	○文化財の出前講座：2回（阿村小学校、維和中学校） ○天草郡市文化財保護委員研修会開催（「アロマ」研修室） ○記念物100年展「上天草市の記念物」（「アロマ」ロビーにてパネル展示）	○「市の文化財や歴史について学びたいと思う」市民の割合（市民意識調査）：36%	文化財の出前講座：2回 文化財研修会：1回（参加者32人） パネル展：1回（来場者26人）	「市の文化財や歴史について学びたいと思う」市民の割合 (市民意識調査) H30年度：35.5% R5年度：40%	36%	37%	102.8%
	49	市民の文化活動の促進	文化振興事業	○いきいき芸術体験教室：3回 (中南小学校、姫戸小学校、大矢野中学校)	○「あなたのもっている知識や技術を活かし、子どもの体験や学習を支える活動に協力したいと思う」市民の割合（市民意識調査）：30%	いきいき芸術体験教室：3回 (中南小学校、姫戸小学校、大矢野中学校)				
②6 交流を通じた市民相互の連帯感の醸成										
	50	人権尊重・男女共同参画の推進	人権教育事業	○地域人権教育指導員による人権講話：19回	○地域人権教育指導員による人権講話参加者数：1700人 ○人権講演会参加者：350人	○地域人権教育指導員による人権講話参加者数：854人 ○人権講演会参加者：450人	①人権が守られていると思う市民の割合 H29年度：51.8% R5年度：60.0%	①52.5%	①48.7%	①93.3%
			人権男女共同参画推進事業	○男女共同参画推進推進審議会を2回開催した。(R1.6.5・R1.10.10) ○国及び県の男女共同参画週間において、窓口にチラシを設置する等啓発活動を2回行った。 ○男女共同参画フォーラムを松島総合センターアロマにて開催し、約250名の参加があった。(R2.1.25)	○男女共同参画社会に関心がある市民の割合：25.5%	22.60%				
	51	自治体間交流の拡大	自治体間交流事業	双方の自治体間での人の流れや物流を活性化させるため、関係自治体との交流を実施。 ○台湾高雄市との交流回数：1回 ○南阿蘇村との交流回数：1回（包括連携協定締結）	○台湾高雄市前鎮区とのMOU締結 ○南阿蘇村との包括協定締結	○市長が台湾高雄市政府を訪問し、交流促進に向けた意思確認を行った。 ○南阿蘇村との包括連携協定締結	②国際交流の交流回数 H29年度：3回 H30年度：3回			

基本

【戦略目標7 高齢社会に備えた安心、便利な生活基盤をつくる】

施策No.	アクションNo.	アクション名	事業名	令和元年度の取組実績	事業目標（令和元年度）	事業目標の達成度合	成果指標 H29年度（基準） R5年度（目標）	成果指標の 令和元年度目標	成果指標の 達成状況	達成率
②7 利便性の高い道路交通ネットワークの充実										
	12	利便性の高い道路交通ネットワークの充実【再掲】	公共交通等対策事業	公共交通における利用者の利便性及び運行効率性向上のため、ダイヤの見直し及び利用促進を図る取組を実施した。 ○座談会・意見交換会の実施：14回 ○運転免許返納者へくまモンのICカード交付：72件 ○地域公共交通だよりの発行：1回	○路線バス及び乗合タクシーの年間利用者数：182,049人 ○地域公共交通網の見直し（教良木河内地区）：2路線 ○交通系ICカードの無料配布の事業確立	○路線バス及び乗合タクシーの年間利用者数：166,145人 ○地域公共交通網の見直し（教良木河内地区）：5路線 ○交通系ICカードの無料配布の事業確立	路線バス及び乗合タクシーの年間利用者数 H29年度：190,079人 R5年度：170,005人	182,049人	166,145人	91.3%
	52	道路環境の整備・充実/港湾の整備（海上交通の環境整備）	橋梁維持工事事業	・橋梁点検 50橋 ・橋梁補修設計 3橋（持田橋、船江橋、鳴川大作山2号橋） ・橋梁補修工事 4橋（樋島大橋、小波戸1号橋、今釜橋、東満2号橋）	○比較的損傷度が高い橋梁23橋のうち補修設計6橋、補修工事2橋を行う。	・橋梁点検 50橋 ・橋梁補修設計 3橋 ・橋梁補修工事 4橋				
			舗装工事単独事業	・事業実施路線 33路線	○現在把握している要対策路線98路線のうち14路線の改修を行う。	・事業実施路線 33路線				
			交通安全施設整備事業	・事業実施路線 12路線	○現在把握している要対策路線14路線のうち10路線の改修を行う。	・事業実施路線 12路線				
			上天草港海岸長寿命化計画策定事業	本事業で活用している交付金事業（防災・安全社会資本整備交付金）における本年度の配分事業費と、次年度の残事業を考慮（R2d完了必須）し、当初予定していた内容を変更して実施。 当初の予定では施設点検を先行する予定であったが、港区ごとに交付金を活用して実施した分と単独費で実施した分を明確にするため、過年度に施設点検を実施した港区を含め、港区ごとに長寿命化計画を策定。 (実績) 【長寿命化計画策定（交付金）】知十港区 L=1.6km、阿村港区 L=6.8km 【施設点検及び長寿命化計画策定（単独費）】樋島港区 L=5.5km、大道港区 L=2.7km	○施設点検 9.8km/28km（35%）	○施設点検8.2km/28.0km（29%） ○長寿命化計画策定16.6km/28.0km（59%）				

⑳ 医療環境の充実										
53	医療体制の充実	医師確保事業	湯島診療所の医師を確保するため、熊本県の自治医科大学卒業医師派遣制度を活用し常勤医1名を確保した。	○常勤医師数 17人 (湯島へき地診療所医師1名含む) (H31年4月見込常勤医師数 13人)	医師1名を確保	住みよい町にしていくために取り組むべき施策の「医療の充実」の「最優先に取り組むべき」の割合 (市民意識調査) H29年度：38.6% R5年度：20%	20%	36%	20.0%	
		医師確保事業	管理者等による医師本人との交渉により整形外科医1名を確保した。また、県の自治医科大学卒業医師1増員となった。しかし、3名の医師の退職により医師数1人減となった。 ○大学病院への派遣依頼件数 4回/年 ○医師住宅確保数 1室	○常勤医師数 17人 (H31年4月見込常勤医師数 13人)	常勤医師数 12名					

㉑ 安心を生む福祉環境の充実										
54	高齢者が安心して暮らせる福祉環境づくり	一般介護予防事業	・毎月の市広報にて1団体ずつ、写真とともに紹介した。 ・かよいの場交流会は開催していないが、介護予防講演会(4町及び湯島で開催)にて、活動状況や体操に取り組んで得られた効果、体力の変化について紹介した。	○「かよいの場」新規立ちあげ：10か所	9か所	要介護認定者率 H29年度：22.3% R5年度：21.0%	21.7%	21.9%	99.1%	
		生活支援体制整備事業	・令和元年12月1日に地域ささえあい住民フォーラムを開催し、246人の参加があった。 ・各生活圏域で協議体を開催し事業について説明を行った。 【協議体開催実績】 上天草市全域 2回 大矢野地区 4回 松島地区 2回 姫戸地区3回 龍ヶ岳地区 2回	○地域の居場所又は有償ボランティアの立ち上げ 1か所	1か所					
		離島高齢者見守り事業	・地域座談会に出席はしていないが、委託先である社会福祉協議会と連絡を取り、見守り対象者の把握、状況を確認した。	○利用実人数：30人	32人					
55	障がい者(児)が安心して暮らせる福祉環境づくり	障害者自立支援事業	○天草圏域にて障がい福祉ガイドの作成 ○障がい者手帳交付時に福祉のしおりを配布 ○個別相談対応	○自立支援給付利用者：397人	374人					
		障害者地域生活支援事業	○広報掲載：年1回 ○個別相談対応 ○障がい者手帳交付時に福祉のしおりを配布	○地域生活支援事業利用者数：312人	297人					
56	低所得者福祉への対応	生活保護適正化実施推進事業	○レセプト点検員による診療内容点検作業：毎月実施	○削減した医療費：3,000千円	削減医療費：3,500千円					
		天草地域生活保護受給者等就労自立促進事業(上天草市福祉事務所就労支援事業)	○生活保護受給者の就労可能な者に対する就労支援：毎月実施	○就労による保護廃止世帯：3世帯	廃止世帯：3世帯					

㉒ 地域の支え合いのネットワークづくり										
46	市民の暮らしを支える地域産業の育成【再掲】	商工振興対策事業	地場産業育成支援の施策を検討する。 買い物弱者の需要に合った支援策を検討するため、アンケート調査等による買い物弱者の現状把握や、市内の宅配サービスを実施している民間事業者の調査を行う。 ○アンケート調査/0回 ○検討会/0回	○施策立案 1件	○施策立案 0件	小地域ネットワークの設置率 H29年度：89.2% R5年度：100%	92.5%	90.3%	97.6%	
		57	小地域ネットワークの強化	一般事務費(小地域ネットワーク活動推進事業)	○小地域ネットワークの設立：1カ所(2行政区)					○小地域ネットワークの設置率：92.5%

㉓ 災害に強い地域づくり、市民の防犯・防災意識の向上										
58	災害に強い基盤整備	急傾斜崩壊対策事業	・事業実施箇所 2箇所(登立尾越崎地区、合津国迫地区)	○採択要件を満たした箇所については速やかに要望を行う。 ○事業実施箇所については、県の側面支援を行う。	・事業実施箇所 2箇所	①火災発生件数 H29年度：18件 R5年度：4件 ②交通事故発生件数 H29年度：53件 R5年度：43件	①15件 ②51件	①22件 ②34件	①53.3% ②133.3%	
		市町村営単県治山事業	令和元年度(2019年度)熊本県単県治山(市町村営)(単独補助治山)事業の3事業箇所について、熊本県に対し要望を行い、1箇所において採択された。測量設計業務委託を実施した後、工事の入札を実施したが、不発となり令和2年度に繰越を行っている。	○予防保全工事：3事業箇所	1事業箇所(※実施中)					
59	市民の防災意識の向上・自主防災組織(災害時要援護者の支援体制)の充実	防災管理事務事業	○避難場所等整備事業補助金の申請件数：4組織(①貝場地区：避難路整備、②梅ノ木地区：避難路整備、③神地区：避難路整備、④新開地区：避難所(公民館)整備) ○自主防災組織活動支援事業補助金の申請件数：33組織	○自主防災組織支援事業補助金の申請件数：56組織 ○避難場所等整備事業補助金の申請件数：4組織 ○火の国ぼうさい塾への参加組織：3組織	○自主防災組織活動支援事業補助金の申請件数：59% ○避難場所等整備事業補助金の申請件数：100% ○火の国ぼうさい塾への参加組織：5組織					
		60	消防体制・防災施設の充実	○宮津地区防火水槽(40t級)の設置 ○大矢野町上地区消火栓修繕2箇所 ○脇浦地区消防格納庫の建設 ○小型ポンプ1台及び小型ポンプ付積載車2台の更新 ○消防庁からの無償貸付 救助用資機材搭載型小型動力ポンプ積載車(3.5t未満)1台 ○消防積載車車検以外の修繕5件 ○大矢野地区防災行政無線デジタル化の整備	○宮津地区防火水槽の設置 ○脇浦地区消防格納庫の建設 ○小型ポンプ1台及び小型ポンプ付積載車2台の更新 ○消防庁からの無償貸付 救助用資機材搭載型小型動力ポンプ積載車(3.5t未満)1台 ○消防積載車車検以外の修繕5件 ○大矢野地区防災行政無線デジタル化の整備					
61	防犯対策・交通安全対策の充実	交通安全広報啓発事務事業	○サポカーやシニアカーの試乗体験会の実施 ○街頭キャンペーンの実施 ○上天草出発式の実施 ○LED防犯灯設置事業補助金の活用11基	○全国交通安全運動の実施：年2回 ○市全域の巡回パトロールの実施：月1回 ○LED防犯灯設備補助金の活用件数：24件	○全国交通安全運動の実施：春と秋の2回 ○上天草市全域の巡回パトロールの実施：4町で延べ71回実施 ○LED防犯灯設置事業補助金の活用件数：11件					

基本

【戦略目標8 自然志向・健康志向の都市住民の定住を促進する】

施策No.	アクションNo.	アクション名	事業名	令和元年度の取組実績	事業目標（令和元年度）	事業目標の達成度合	成果指標 H29年度（基準） R5年度（目標）	成果指標の 令和元年度目標	成果指標の 達成状況	達成率
③② ニーズをとらえた居住環境の整備/新たな定住者に対する支援										
	62	ニーズを捉えた居住環境整備	住宅建設事業	建物の点検及び入居者の要望等を基に、改修又は修繕等を施工した。	○改修戸数：6戸 (市営脇浦団地2号棟屋上・外壁改修工事等)	市営脇浦団地2号棟屋上・外壁改修工事施工完了	市営住宅の改修戸数 H29年度：26戸 R5年度：累計80戸	6戸 (累計40戸)	6戸 (累計40戸)	100.0%
③③ 新たな定住者に対する支援										
	63	移住相談・定住情報発信の充実	移住促進事業	移住相談アドバイザーによる移住検討者へのきめ細やかな相談対応や移住情報サイトによる情報発信、都市部で開催される移住相談会への参加及び地方創生推進交付金を活用した事業等の様々な取組みを実施。 ○移住相談会参加/年間：7回（天草市との合同相談会2回） ○セカンドライフ会員の相談会参加/年間：2回 ○移住者交流会の開催/年間：0回（荒天、コロナウイルスにより2回の企画が中止） ○移住者女子会の開催/年間：各1回	○相談対応件数/年間：150件	○相談対応件数/年間：155件	本市への移住者数 H29年度：45人 R5年度：55人	47人	79人	168.1%
	64	移住定住促進に関する支援制度の充実	移住促進事業	本市への移住・定住を促進するため、情報発信等の移住定住の取組みに加え、移住希望者や空き家等所有者への優遇措置として、補助金等を交付し、受け皿の拡充を図った。 ○移住支援助成金の交付/年間：30件（住宅取得9件、引越費用19件、自動車購入2件、自動車免許取得0件） ○空き家バンク物件登録促進のためのPR/年間：1回 税務課固定資産税納付通知書チラシ同封、年間：2回 広報誌掲載 ○空き家バンク調査謝礼交付/年間：15件 ○空き家バンク物件登録交渉旅費（福岡を想定）/年間：0回 ○空き家等活用促進事業補助金の交付/年間：4件	○空き家バンク物件登録者数/年間：15件 ○空き家バンクを利用した移住者数：年間5件	○空き家バンク物件登録者数/年間：11件 ○空き家バンクを利用した移住者数：年間4件				
	65	短期・中期の体験居住の推進	移住促進事業	移住検討者に対する支援として、本市での体験居住の機会を提供した。 ○移住お試し施設の利用日数/年間：97日 ○移住お試し施設のリーフレット配布/相談会、DM発送時 ○県事業ワーキングホリデーの受入者数/年間：2名	○お試し体験プランを利用した移住者数：年間1件	○お試し体験プランを利用した移住者数：年間1件				

基本

【戦略目標9 自然環境を守り、美しい景観をつくる】

施策No.	アクションNo.	アクション名	事業名	令和元年度の取組実績	事業目標（令和元年度）	事業目標の達成度合	成果指標 H29年度（基準） R5年度（目標）	成果指標の 令和元年度目標	成果指標の 達成状況	達成率
③④ 自然を守り伝える環境づくり、景観保全の強化										
	66	市民の自主的な環境保全活動の推進	くまもと・みんなの川と海づくり事業	令和元年7月15日（海の日）に、特定非営利法人及び企業関係と協同で「海の日クリーン作戦」を実施。 ○実施内容/海岸等に漂着したごみの分別・収集等 ○実施場所/大矢野地区海岸24カ所 松島地区海岸/1カ所 ○参加人数/1,560人	○美化清掃活動予定参加人数：10,482人	1,560人	環境保全イベントへの年間参加者数 H29年度：10,353人 R5年度：11,000人	10,482人	11,883人	113.4%
			アダプトプログラム事業	里親の増加を図るため、事業内容や登録団体についての周知を実施。 ○大矢野町協議体（おたっしや会）における事業説明：1回 ○広報紙での募集：1回	○新規登録団体数：1団体	5団体				
	67	計画的な景観保全に向けた取り組みの強化（条例等による規制強化）	都市整備総務一般事務事業	本市のほとんどが雲仙天草国立公園区域であり、現在想定している景観計画以上の規則であるため、積極的な対応は行わないこととした。	○景観計画の策定	-				
③⑤ 日常から見直す環境にやさしいまちづくり										
	68	適正な生活排水処理の推進による河川・海の環境保全	浄化槽設置助成事業	汚水処理未普及の解消につながるように、浄化槽設置整備事業補助金の助成内容の拡充（宅内配管工事分の上乗せ上限30万円）を実施した。 補助実績 転換 37基（内単独からの転換 17基） 新築 33基 合計 70基 周知実施 市広報誌掲載 2回（5月号、11月号） 市ホームページ掲載 4月15日掲載（5月1日更新） 区長便（班回覧） 4月 その他（市LINE掲載、区長会周知、関係事業所周知通知等）	○合併処理浄化槽設置数：102基	合併処理浄化槽設置数 78基（内70基補助）	公共用水域（海域）の水質（COD）の達成率 H29年度：100% R5年度：100%	100%	100%	100.0%
			生活環境一般事務事業（水質検査）	環境汚染の監視・抑制の取組として生活排水等が流れ込む河川での水質状況を把握するため、水質調査を実施。 ○調査箇所/大矢野川6カ所 ○調査時期/7月・10月・2月	○公共用水域（海域）の水質（COD環境基準）の達成率：100%	100%				
	69	適正なゴミ処理の推進	学校施設から排出される生ごみの堆肥化事業	市内小中学校2校にて学校施設から排出される生ごみの回収を行い堆肥化を実施。 回収量：約4t	○平成31年度リサイクル率：11.8%	令和元年度（平成31年度）リサイクル率9.8%（推計）				
			生ごみ処理機器購入費補助金交付事業	一般家庭から発生する生ごみの堆肥化及び減量化に取り組むため、生ごみ処理機器を購入する方に対し、購入費の一部補助を実施。 交付金総額 276,600円 (内訳) 電動式 9件 254,900円 堆肥化容器 3件 21,700円						
③⑥ 地球的視野にたった資源・環境対策の推進										
	70	再生可能エネルギーの活用	住宅用省エネルギー設備設置補助事業	地球温暖化防止に貢献することを目的とし、市民へ新エネルギーの利用を促進し、住宅に太陽光発電システム等を導入しようとする者に、設置費の一部補助とその周知を実施。 【補助金】 交付金総額 1,210,000円 (内訳) 太陽光 2件 70,000円 蓄電池 11件 1,100,000円 HEMS 4件 40,000円	○市の事務事業に伴うCO ₂ 排出量 3,813,121kg-CO ₂	3,761,817kg-CO ₂	市の事務事業に伴うCO ₂ 排出量 H29年度：3,918,005kg-CO ₂ R5年度：3,603,357kg-CO ₂	3,813,121kg-CO ₂	3,761,905kg-CO ₂ (H30実績)	101.3%